

桜の蕾が膨らみ始めたせいなのか卒業式を意識した途端、ふと自分の卒業式を思い出しました。いきなりですが、皆さんは卒業式で泣いた経験はありますか？わたしはありません。泣かないのではなく泣けないのです。卒業式の後、再集結して遊ぶ約束をしているクラスメイトとは違い、思い返せば私は前に進むことも、後に戻ることもできない、あやふやな春休みが始まるのがとても不安だったのです。そんなことを感じた卒業式からもう数十年、学校では卒業式の歌の練習が始まりました。

3年生の皆さん、残りわずかとなりましたが中学校生活をたくさん楽しんで下さい。そしてもし、昔の私のように不安を感じている人がいても大丈夫。読書を通じて色々な体験をすればそんな気持ちも吹き飛びます。何よりこれから先、皆さんが多くの出会いの中で「生涯の1冊」に出会えるよう、図書室より心から願っております。
(司書・長井)

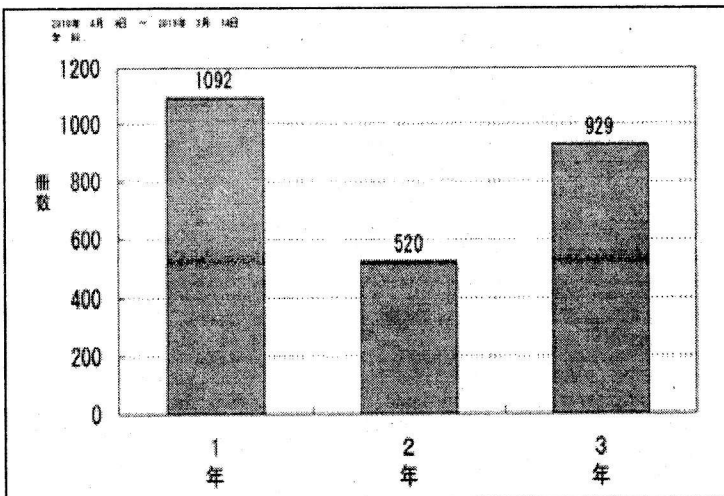
3年間の読書量 最優秀賞 226冊 3年A組 鈴木 彩心さん

私は小学校4～6年生の時に図書委員をしていました。言葉で言い表すのは難しいですが、図書室の雰囲気が好きで心が落ち着き、好きな本を借りに来る人たちの楽しそうな顔を見ると嬉しい気持ちになりました。しかし、恥ずかしながら私は本を読むことが苦手でした。中学生になってからも図書委員になりたかったのですが、なれませんでした。

図書室が好きな私は、何度となく行っているうちに、今度は借り手としてたくさんの本を借りていました。あまり期待せず借りた本がおもしろく意外な発見があり、とにかく色々なジャンルの本に触れてみるのが大切だと思いました。

また、私は新着図書案内に書かれてあるコメントが楽しみで、プリントはほとんどとってあります。以前、他の中学校に行った友人たちと図書室や本について話すことがありました。そこで御成門中の新着図書の多さや、丁寧なコメントがかかっていることに友人たちは驚いていました。私は御成門中の生徒はとても恵まれた環境にあるのだと思いました。既存の本にも興味深いたくさんの面白い本があります。これらの事を知らずに3年間を過ごすのはとてももったいないことです。是非、たくさんの本を手にとってみてください。必ず気に入った本が見つかると思います。
(3A・鈴木彩心)

1年間の学年別貸出統計 (総数冊 2,541 冊)



～主事さんに感謝！！～

御成門中図書室自慢の主事さん手作りのジオラマが廃線の危機にありました。

修理をするために一時引き取られ、設置場所となっていた周辺はなんともさびしい空間になってしまいました。在校生はもちろん、久々に図書室を訪問してくれた卒業生からも「電車どうしたんですか？」と聞かれ、ジオラマの存在の大きさを実感しました。そのジオラマが図書室に戻ってきました！電車は幸せを呼ぶドクターイエローです。このような温かい心づかいで、図書室は居心地の良い空間になっています。感謝！(RAS・新上)